慶應義塾大学法学部　松浦淳介研究会

2021年度募集要項

2021年1月4日

松浦　淳介

# 1．本研究会の概要

本研究会では，現代の日本における政治現象を主な分析対象として，理論的，実証的な研究を行います．現代日本政治分析は，政治学の理論やモデルの発展に寄与するだけでなく，眼前の日本政治を深く理解し，またその行方を展望するうえでも，決定的に重要な意味を持っています．しかし，日本の政治学界においては，戦後長らく同時代の日本政治は本格的な分析の対象とされず，印象論的に批評されるにとどまることが少なくありませんでした．また，日本に住む人びとにとって，現代の日本政治は遠い過去の政治や諸外国の政治と比べて，身近なものであるが故に，誰もが「評論家」となり得る対象といえますが，社会に溢れる政治議論の中には，根拠を伴わない印象論や規範論が少なからず散見されます．

そこで，本研究会では，政治学的な観点から，日本政治に関する世間の「常識」を批判的に検討するとともに，主体的に政治現象を捉え，考察する能力を涵養します．また，単に政治学を「勉強」するだけでなく，自らオリジナルな「研究」を遂行することを目指します．私自身は主に日本の国会を対象として，実証的な研究を行ってきましたが，それ以外にも，首相の権力や政官関係，地方政治など，日本政治全般に強い関心を持つ学生を広く募集します．

# 2．本研究会での活動

　本研究会では，「研究」の第一歩ともいえる卒業論文を念頭に置いて，入ゼミ当初から計画的に準備を進めます．具体的には，3年次の春学期において政治学の方法論に関するテキストを輪読し，政治学的な考え方や研究手法について学びます．続く秋学期では，現代の日本政治に関する学術書や学術論文を輪読し，他者の研究を批判的に検討する力を養うとともに．自身の研究計画を具体化させていきます．4年次では，夏休み中の研究合宿などで中間報告を行ったうえで，秋学期にそれまでの研究成果を三田祭論文，そして卒業論文として発表します．

　また，本研究会では，学内外の政治学系のゼミとの合同研究発表や学会での報告，実際の政治過程に深く関わるアクターに対するインタビューなども予定しています．

# 3．入ゼミ課題

・募集予定人数

15～20名程度．

・課題内容

　1．これまでに最も力を入れてきたことを自己紹介も含めて1,000字程度でまとめる．

　2．卒業論文を念頭に置いて，研究テーマと研究計画を1,000字程度でまとめる．

　3．以下の指定図書の中からひとつを選び，その要約とそれに対する批評を3,000字程度でまとめる．

　〈指定図書〉

　　中江兆民『三酔人経綸問答』岩波書店，1965年．

　　北岡伸一『自民党―政権党の38年』中央公論新社，2008年．

　　飯尾潤『日本の統治構造―官僚内閣制から議院内閣制へ』中央公論新社，2007年．

・締切日

　2021年1月29日（金）

・提出方法

　締切日までに以下に郵送する（当日必着）．なお，郵送には簡易書留やレターパックライトなど，「郵便追跡サービス」が付いているものを用いること．

　送付先：〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学法学部　松浦淳介研究室

・問い合わせ

　質問等はE-mail（matsuura@law.keio.ac.jp）で受け付ける．

以上